

- IMFは世界経済見通し改定で、世界全体の成長率を4月時点の予測から引き下げ。新型コロナウイルス感染拡大は見通しを上回るマイナスの影響をもたらし、回復は前回の予測よりも緩やかとした。
- OECD景気先行指数は今年初めて上昇も、持ち直しは限定的。ただし、欧米と日中では水準や勢いに差があり、それぞれの国・地域の景気に反映されるのか、今後の動向が注目される。

IMFは世界経済見通しを4月から引き下げ

24日に国際通貨基金（IMF）が発表した世界経済見通し（WEO）の改定で、IMFは2020年の世界全体の成長率を-4.9%、2021年を5.4%と、4月時点の予測からそれぞれ1.9%、0.4%引き下げました。

IMFは引き下げについて、新型コロナウイルス感染拡大は見通しを上回るマイナスの影響を2020年前半の経済活動にもたらし、回復は前回の予測よりも緩やかなものが見込まれるとしました。通例であれば見通しの改定は7月に行われますが、世界的に急激な景気悪化が1ヵ月程度早い改定につながったとみられます。

IMFは2020年の成長率について、米国は4月時点の予測から2.1%、日本は0.6%引き下げました。中国については0.2%引き下げたものの、主要国で唯一プラスの見通しとなっています。

OECD景気先行指数は欧米と日中の水準に差も

新型コロナウイルス感染拡大による世界的な景気悪化を受け、4月に経済協力開発機構（OECD）は、加盟国全体およびほとんどの主要国の見通しを「急激な落ち込み」とし、足もとまで見通しを据え置いています。10日に発表されたOECD景気先行指数は今年初めて上昇しましたが、持ち直しは限定的で、米国やユーロ圏なども同様の動きとなっています。

こうしたなか、中国については、「急激な落ち込み」から5月に「勢いが一時的に前向きな変化の兆し」へ引き上げ、6月もこの見通しを据え置きました。このほか、日本については他国同様、「急激な落ち込み」との見通しに変更はないものの、景気先行指数の落ち込みの度合いは他の主要国と比較すれば小幅なものにとどまっています。

このようなOECD景気先行指数における欧米と日中の水準や勢いの差がそれぞれの国・地域の景気に反映されるのか、今後の動向が注目されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

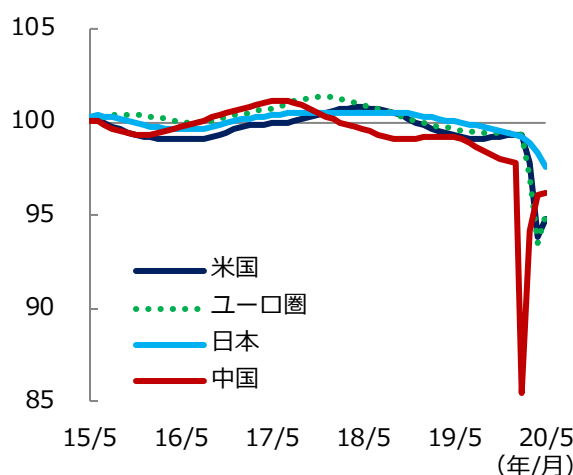
IMFによるGDP成長率見通し

	2019年	2020年	2021年
全世界計	2.9%	-4.9%	5.4%
先進国	1.7%	-8.0%	4.8%
米国	2.3%	-8.0%	4.5%
日本	0.7%	-5.8%	2.4%
新興国	3.7%	-3.0%	5.9%
中国	6.1%	1.0%	8.2%

※2020年以降は予測値

出所：IMF「World Economic Outlook Update, June 2020」をもとにアセットマネジメントOne作成

OECD景気先行指数の推移



※期間：2015年5月～2020年5月（月次）
長期トレンド=100とする

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。